



都立航空高専・機械工学科4年生
年度始めの抱負

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

● 去年の私はテストの点数だけを求めて、自分の将来のビジョンを明確に出来ていませんでした。しかし今年には将来の明確なビジョンや目標を持ち、そのための実力を身につける勉強をしていくように全力で努力をしていきます。今回の授業の感想は、自分がなんのために勉強をしていくのかを再確認するものでした。

◆ 4年になったからには1年間全うする。単位もとる。

■ 高専ロボコンで勝つ。まわりをあつ

と言わせる。人と違うことをする。創意工夫をする。(N)

▲ 自分の将来を決める1年になるので考えて行動する。前年度は何も考えずにただ勉強していたが、自分が何にむけて勉強しているのかを考える。(S)

★ レスキューロボットに興味があるので、4年〜5年にかけていろいろ勉強していこうと思います。各教科の成績を向上させようと思います。

▼ 抱負は焦らないこと。何事にもやつつけ仕事をせざるに余裕をもつていきたいと思えます。

▲ 流れに身をまかせろ。卒業後の進路を決める。英語を勉強する。

▲ いろいろな先生方が4年は進路をよく考え、その進路のために充実した1年を過ごすように、といっていることを良く感じた。なのでこの1年をしっかりと乗りこえる。そのためにはバイトを減らし、機械に興味を持つ。

▼ 時間を有意義に使えるようにする。勉強は質を高め、ヒマの無い毎日を通す。記憶力を上げる。また、記憶したものを忘れないように努めた。

◆ 全国大会へ行く。



消え行く「白熱電球」の明かり

皆さまの家の明かりには、どのような器具をお使いでしょうか？多くの部屋では、蛍光灯をお使いだと思いますが、雰囲気重視する食卓やリビングなどでは、昔ながらの白熱電球をお使いになっている場合も少なくないようです。

蛍光灯の光の下では、赤は「赤」、緑は「緑」と、自然の光に近いように見えるため、爽やかな印象を与えます。例えば、スーパーの野菜売り場は、蛍光灯の光が野菜の色を、生き活きと新鮮に見せています。一方、白熱電球は、やや赤っぽい光になるため、温かな落ち着いた印象を与えます。例えばホテルの居室、飲食店の多くは照明に電球色を取り入れています。

ところで、先日のニュースで、大手照明メーカー・東芝ライテック社が、2010年度を目処に、一般白熱電球の製造をすべて中止するというものがありました。

白熱電球には、エネルギー効率が蛍光灯に比べて著しく劣る欠点があります。同じ明るさを得るのに、蛍光灯の4倍の電力を消費し、また、高熱を発します。また、蛍光灯に比べて寿命が短いという欠点もあります。

これらが、「地球温暖化」や、「二酸化炭素排出」が問題になっている現状にそぐわなくなったのです。ご紹介したメーカーの動きは、必然の成り行きと言えましょう。

今後は、白熱電球に近い発光をする、電球色の「電球型蛍光灯」が一段と普及することになりそうです。私の店でも、60ワットの白熱電球をやめて、電球型蛍光灯に取り替えましたが、何の支障もありません。光の雰囲気も悪くありません。買う時やや値段は高めですが、省エネで長寿命なので確実に元は取れそうです。



【消費生活アドバイザー】
佐藤 祐一郎

◆ メガネのサトウ ◆
南千住5丁目43の13【コッ通り】
TEL 03(3806)4930

★ 営業時間のご案内 ★

平日・土曜：AM 10時～PM 7時30分

日曜・祝日：AM 11時～PM 6時30分

◎ 5月7日は、AM 11時開店です。

◎ 4月27日、5月4日～6日、12日は休業日でございます。恐れ入りますが、連休前にぜひご用命下さい。